



第17回目 応用倫理・応用哲学研究会

医学における 哲学的倫理的問題

—医学概論の観点から

講演者：杉岡良彦先生（信貴山病院分院 上野病院診療部精神科）

司会：宮嶋俊一（北海道大学文学研究院）

2021年2月26日(金)

18:00～19:30

ZOOMを用いたオンライン開催

事前申込：必要

申込締切：2月25日（木）まで

申込はこちらから⇒⇒⇒

または、当センターHP (<http://caep-hu.sakura.ne.jp>) をご確認ください。



講演要旨：

哲学者の澤瀉久敬は、医学の哲学としての「医学概論」という学問を構築した。医学概論という学問の成立過程や、農学の科学哲学である「農学原論」との比較を通じて、医学概論とはどのような学問であるのかを紹介したい。

また、医師を養成する現在の医学教育やその後のガイドラインに沿った臨床の在り方は、画一的な臨床医を育成してしまう危険性を孕んでいるようにも思われる。さらに、医学は単なる基礎科学の応用ではなく、価値に関わる学問であり、治療選択の問題のみではなく、健康や延命、さらに苦悩への態度などの問題を含むが、こうした問題は、従来の科学的方法では答えることのできない問題である。

上記の具体的な事実を紹介し、参加者の皆様との対話を通じて、医学という学問や実践における哲学や倫理学の位置づけ、およびその意義について考えたい。また、医学部において医学哲学の講義が重視されない理由、およびこの現状がもたらす問題点についても考察したい。

講演者：

杉岡良彦 先生 (信貴山病院分院 上野病院診療部精神科)

講演者プロフィール：

医師、博士(医学)、精神保健指定医
京都大学農学部卒、京都府立医科大学卒、東海大学大学院医学研究科博士課程修了。
旭川医科大学医学部講師を経て、2016年より精神科病院勤務。2020年より京都府立医科大学非常勤講師として「医学哲学」(12コマ)の講義を担当。著書に『哲学としての医学概論』(2014年)、『医学とはどのような学問か』(2019年)など。

主催：応用倫理・応用哲学研究教育センター

問い合わせ先：

北海道大学大学院文学研究院

応用倫理・応用哲学研究教育センター

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

Tel: 011-706-4088

E-mail: caep@let.hokudai.ac.jp

URL: <http://caep-hu.sakura.ne.jp>

Twitter: @caep_hu

